



令和8年 (2026年) 3月26日(木)

No. 16590 1部377円(税込み)

発行所

一般社団法人 発明推進協会

東京都港区虎ノ門2-9-1

虎ノ門ヒルズ 江戸見坂テラス

郵便番号 105-0001

[電話]03-3502-5493

特許ニュースは

●知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術
予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年75,090円 6カ月39,165円
(税・配送料込み)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

発明推進協会ウェブサイト <https://www.jiii.or.jp>

目次

☆生成AIの著作権侵害をめぐる海外裁判例の整理と実務への示唆 (1)

生成AIの著作権侵害をめぐる海外裁判例の 整理と実務への示唆

文化庁著作権課

著作権調査官 弁護士 飯田 真弥

第1 はじめに

生成AIの進化に伴い、既存の著作物と類似する出力や、特定の表現を逐語的に再現する出力が一定程度確認されるようになってきている。もっとも、日本における生成AIに関する裁判例の蓄積はなお乏しい状況であることに加え、生成AIを開発・利用する場合

には、海外の生成AIサービスを利用する場合も、生成AIを利用したサービスを海外に向けて提供する場合も少なくない。そのため、海外裁判例の動向を踏まえた対応を行うことが著作権侵害リスクの観点からは有用であろう。

本稿は、2024年から2025年に相次いで判断が示された海外の主要裁判例を素材として、各判決における判断枠組みと判断を概観し、生成AIを開発・利用

あなたの知識技術を活かしてみませんか？

先端技術リサーチャー募集

審査経験者大歓迎！

すべての技術分野で募集中 採用時 65歳まで応募可能

IPCC

一般財団法人
工業所有権協力センター

HP

